



発行：高野口小学校学校運営協議会（高野口小学校内）42-2061

まだ梅雨は明けていませんが、今年も記録的な暑さが予想されています。子どもたちは汗をかきながらも元気に登校し、日々の学びや活動に一生懸命取り組んでいます。6月8日から水泳の授業も始まり、プールには子どもたちの元気な声が響いています。この3か月間、子どもたちは新しい友だちや先生との出会いの中で、多くのことを学び、着実に成長してきました。7月は夏休みまでの学習や生活のまとめの時期です。これまでの振り返りを通して、次のステップに向けた準備を進めてまいります。授業参観や学級懇談会など、保護者の皆様には多くのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、地域の皆様には朝の見守りや放課後学習等、様々な場面で子どもたちのためにご尽力いただきありがとうございます。今後も高野口小学校の子どもたちのためご協力よろしく願いたします。

令和8年度高野口小学校 学校運営協議会委員さん

- 井澤 清 様(元高野口小学校長)
- 廣岡 慶三 様(高野口地区連合会長)
- 北浦 健司 様(共育コミュニティ代表)
- 井上 百合子様(青少年健全育成会代表)
- 丸井 緩子 様(高野口公民館長)
- 辻本 玲奈 様(高野口学童指導員)
- 南 正樹 様(信太区長会代表)
- 下坂 万莉 様(PTA会長)

6月6日に第1回学校運営協議会を開催しました。今年度は上記の8名の方々をお願いをいたしました。

右のスクールプランをもとにして、今年度の学校運営について、校長より説明させていただきます。

7月1日には、第2回学校運営協議会として、授業を参観いただき、教職員との情報の共有や今年度の取り組みについて検討していく会議を予定しています。



令和8年度 橋本市立高野口小学校スクールプラン

橋本市の新しい学校づくり
 (学校教育で目指す子供像)
未来を創造し、たくましく生きる
 ○自分事として捉えること
 ○自分の考えを表現すること
 ○認められる場や活躍できる場を獲得すること

学校教育目標
未来を創る子どもの育成
 上位目標
自己肯定感を育む
 (自律・協働・利他の学びから)
めざす児童像
 ○自ら考え、進んで学び、表現する子
 ○夢や目標をもって努力を続ける子
 ○心優しく思いやりがあり利他の心を大切にできる子
 ○学校や地域に愛着と誇りをもつ子
 ○「やってみよう・ありがとう・なんとかなる・ありのままに」の4因子を大切にしウェルビーイングが感じられる子

児童の実態
 ・明るく元気な入園・こい子が多い
 ・礼儀正しい子が多い
 ・与えられた課題にまじめに取り組む子が多い
 ・自分で考え行動する力が強い
 ・粘り強く最後まで取り組む力が弱い
 ・家庭での読書量が二極化している
 ・家庭でのスマホ・ゲーム等の時間が長い
 ・自己肯定感の低い子が多い

保護者・地域の願い
 ・学力を優先してほしい。
 ・学校が買ってくれると感じている。
 ・時には厳しい指導も必要だと思う。
 ・働きを大切にすることを必要を感じている。
 ・安心・安全な教育環境をつくらしてほしい。
 ・家庭との連携を密にしてほしい。

高野口中学校区 9年間を通した学びからゴールにめざす姿
 「対話のある社会の形成者」(形成者とは社会をよりよい方向に創り上げようとする市民を指す)
 物怖じせず、自分の考えをみんなの前で話せる子(共通)
 小1 ゴールに向かいそれぞれの学年に応じためざす子どもの姿を設定する

自己肯定感の育成
 ●ESDの充実
 児童を主体としたゼロベースのESD
 地域資源を生かした体験学習(ふるさと学習)
 ●特別活動の充実
 児童主体の児童会活動、縦割り活動
 創意工夫ある係活動・学級活動
 全員参加で主体的な集会活動・学校行事
 ●相手を認め、思いやる心の育成
 道徳授業の計画的実践
 いじめ・不登校の未然防止
 温かい学級集団作り

自ら学びに向かい確かな学力を育てる
 ●主体的・対話的で深い学びの実践
 児童が主体的に学び、自己調整できる授業づくり
 ICT機器を活用した授業づくり
 意欲を引き出す課題づくり
 個別最適化・協働的な学習の実践
 UD化された授業展開
 ●研究の充実
 組織的な研究の推進
 家庭学習習慣の定着
 読書習慣を育む活動の推進
 ゼロスタートのキャリア・メンター・マネージャー

教育の場をウェルビーイングに
 自己肯定感を育む
 ・自律(自分から進んでやってみよう)
 ・協働(みんなと一緒にやってみよう)

Well-being
 個人のウェルビーイング
 学校のウェルビーイング
 地域・社会のウェルビーイング

健やかな体の育成
 ●体力づくりの推進
 体力の向上・体育授業の充実
 食育の推進
 基本的な生活習慣の確立
 ●安全教育の推進
 子供の安全確保・安全指導
 危機管理能力を育てる防災教育
 自ら考える避難訓練の実施

信頼される学校
 ●学校・家庭・地域・関係機関との連携
 保護者に信頼を得るつながり
 家庭・地域への積極的な情報発信
 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)や地域企業や住民との連携
 共育コミュニティとの協働(地域行事への参加)

めざす教師像 ・学び続ける教師(子どものロールモデルになる主体性・当事者性)
 ・プロフェッショナルな教師(授業力、児童支援、保護・地域とのつながり)
 ・ウェルビーイングを実践し「働きがい改革」に向かう教師

—R8年度スローガン—
「ひと」「もの」「こと」を大切に「子どもが主語の学校」づくり

※8月より地域回覧再開させていただきます。